

本日の懇談会における議論の内容

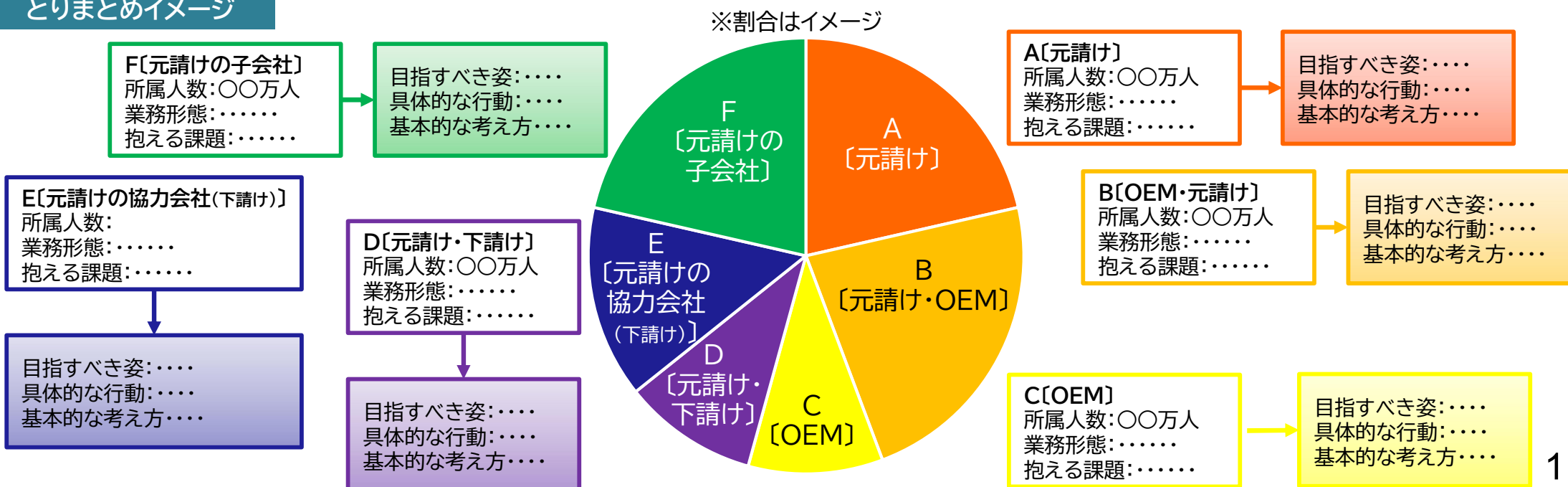
懇談会における議論の進め方

現況の住宅生産体制（A～Fの6類型を想定）**ごとに共通する視点で**、住宅生産の担い手が安定的に確保された社会に向けて、すなわち「住宅建設技能者」に焦点あて、**目指すべき姿・具体的な行動・基本的な考え方をご議論いただきたい。**その前提として、**現況の住宅生産体制ごとに事業者へアンケートを行い、およそその住宅建設技能者の分布、仕事の内容・仕方や課題を可視化したい**と考えている。

本日は以下の内容について、ご議論いただきたい。

- （１）現況の住宅生産体制（A～Fの6類型を想定）について……………p 2
- （２）実現したい社会に向けて、目指すべき姿・具体的な行動・基本的な考え方を導き出すための共通の視点について……………p 5
- （３）事業者へのアンケートの内容について……………p 7

とりまとめイメージ



(1) 現況の住宅生産体制について①

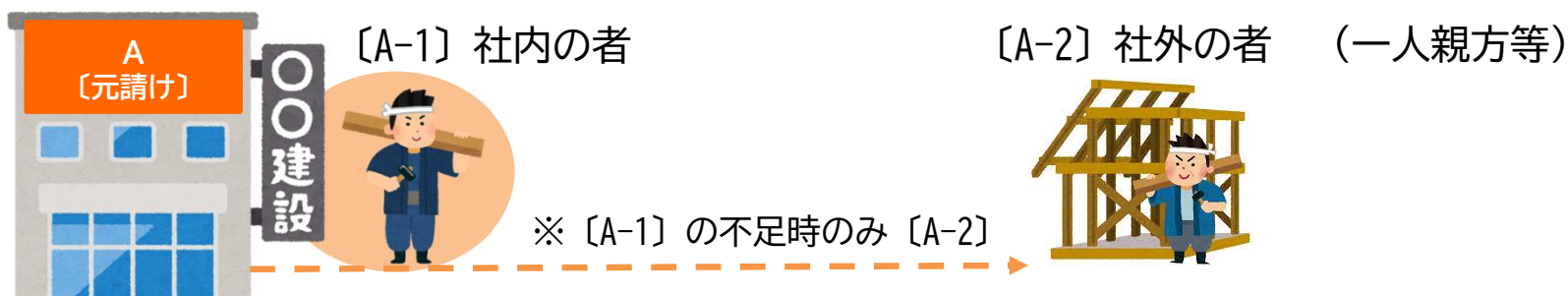
現況の住宅生産体制については、〔A-1〕から〔F-2〕の場合に分類できるのではないかな。

〔い〕 施主と契約を行う者と施工会社が同一の場合

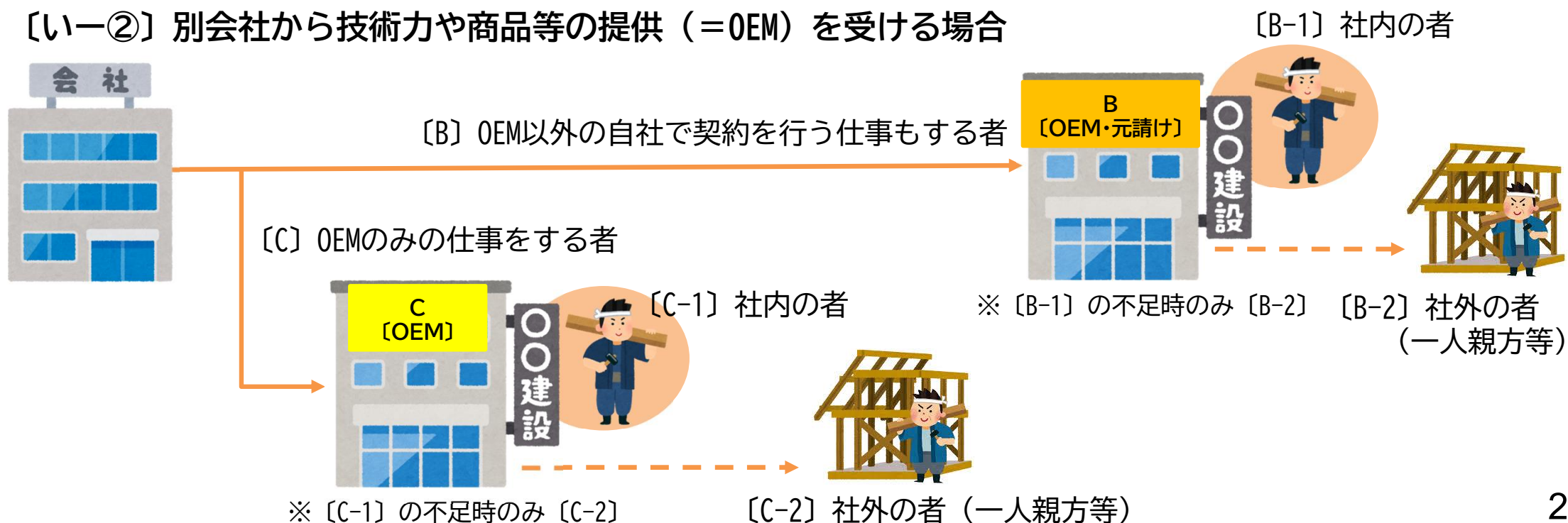
施主と契約する施工会社

住宅建設技能者

〔いー①〕 自社ブランドの場合



〔いー②〕 別会社から技術力や商品等の提供 (=OEM) を受ける場合



(1)現況の住宅生産体制について②

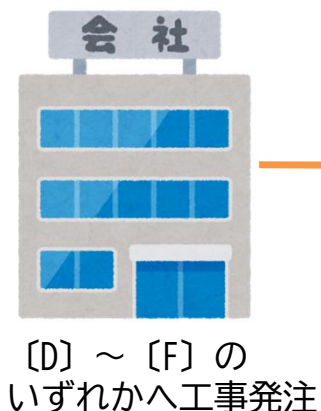
〔ろ〕 施主と契約を行う者と施工会社が別の場合

施主と契約を行う者

施工会社

住宅建設技能者

※自社では施工をしない



〔D〕 施主と契約を行う者からの仕事以外の
自社で契約を行う仕事もする者



〔D-1〕 社内の者



〔D-2〕 社外の者（一人親方等）

〔E〕 施主と契約を行う者からの
仕事のみを請け負う者



〔E-1〕 社内の者



〔E-2〕 社外の者（一人親方等）

〔F〕 施主と契約を行う者の子会社
（資本関係あり）



〔F-1〕 社内の者



〔F-2〕 社外の者（一人親方等）

(1)現況の住宅生産体制について③

P2～3における「住宅建設技能者」の範囲について（イメージ）

構法	具体の工程		
	基礎を除く上棟までの工程	壁・床・天井などの下地材の取り付け	クロス貼り等の内装・設備の設置
木造	○ (現場作業有)	○ (現場作業有)	△ (前頁の対象外)
鉄骨造	△ (前頁の対象外)	○ (現場作業有)	△ (前頁の対象外)
RC造	△ (前頁の対象外)	○ (現場作業有)	△ (前頁の対象外)
(造問わず) 工場で躯体を組み立てて現場に持ってくる場合	△ (前頁の対象外)	○ (現場作業有)	△ (前頁の対象外)

- ※ 構造躯体にかかる現場作業を行う者をメインとして議論（左官等についても対象外とする）。
- ※ 懇談会においては、職場環境・将来見通しや省力化・効率化の観点から上記以外の者についての意見をいただくこともあると考えているが、あくまでメインは上記の「住宅建設技能者」としてはどうか。

(2) 共通の視点

(2) 実現したい社会に向けて、目指すべき姿・具体的な行動・基本的な考え方を導き出すための共通の視点

① 住まい供給の担い手である住宅分野の建設技能者の確保のためにどのようなアプローチが有効か。

入職者の増加、職場環境・将来見通しの整備に加え、必要なアプローチや軸はどのようなものか。

② 入職者を増やすにはどうしたらよいか。（憧れの職業へ）

国内の新卒に選ばれる職業になるために必要なことは何か。外国人労働者や女性等の現状少ない入職を増やすためにはどうしたらよいか。また、他業種からの中途採用を増やすためにはどうしたらよいか。

③ 職場環境をどのように整備したらよいか。（働き続けられる職場へ）

働く場所（現場）に必要な環境整備はどのようなものか。休暇や病欠時の給料の保証など労働条件として整備するためにはどうしたらよいか。新築市場から既存住宅市場に働き方を変えるために必要なものは何か。

④ 将来の見通しを持って働くにはどうしたらよいか。（働き続けられる職場へ）

将来見通しを持って働くために、どのような魅力的なキャリアプラン・ロールモデルを示せるか。現状の日雇い等の働き方を変えるためのマインドの変革はどのようにおこせばよいか。住宅性能や施主のニーズの変化に対応した技術力の向上のために、何が必要か。

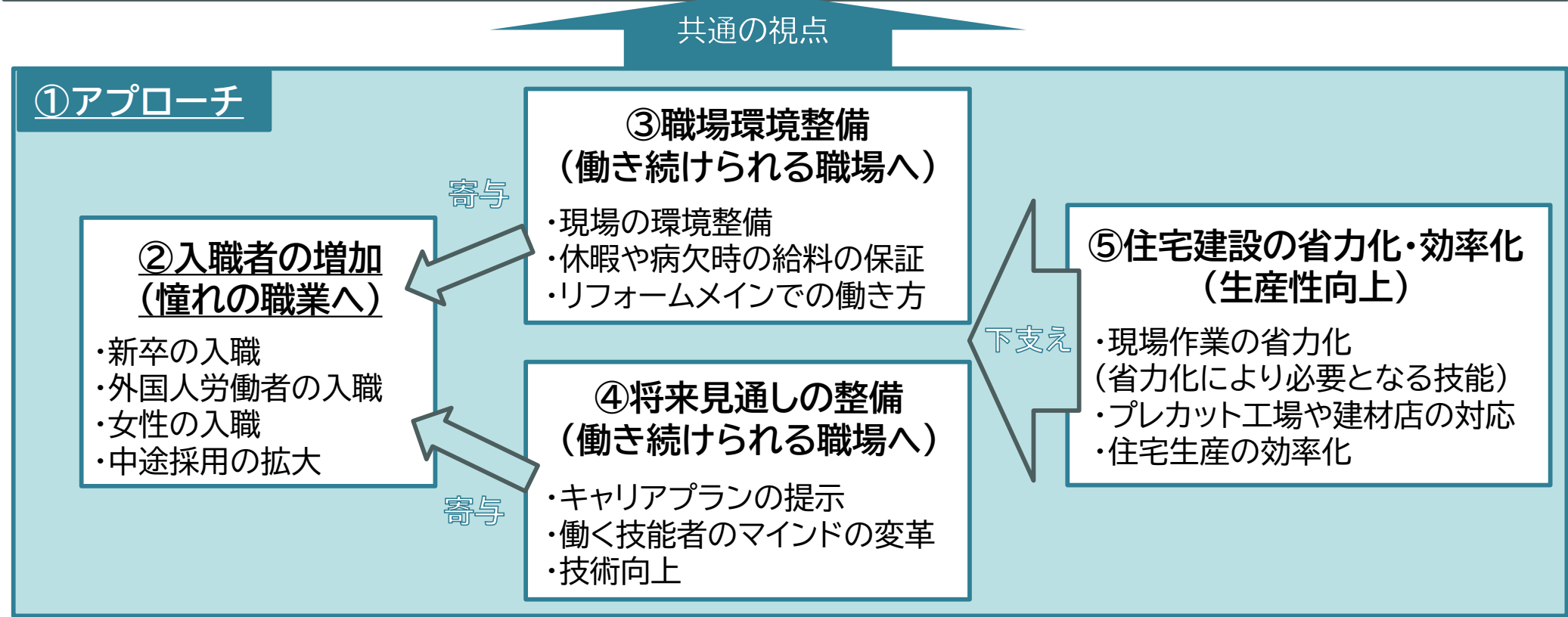
⑤ より省力化、より効率化をどのように目指せばよいか。（生産性向上）

プレカット率が9割を超える中、住宅生産のさらなる省力化や、省力化のために必要となる技能はどのようなものか。また、プレカット工場や建材店に求めるものはどのようなことか。

住宅生産に関わる担い手が安定的に確保された目指すべき社会のイメージ

- 住まい供給の担い手である住宅分野の建設技能者の確保に当たっては、まずは住宅分野の建設技能者になる入り口の「**入職者の増加**」、次に技能者の離職率を減らすための「**職場環境や将来見通しの整備**」が必要と考えられる。また、それらの取組を行ってもなお、質の高い住まいの安定的な供給・適切な維持管理のために労働力が足りないことが考えられるため、「**住宅建設の省力化・効率化**」を図る必要がある。
- 住宅分野の建設技能者が確保された質の高い住まいの安定的な供給・適切な維持管理が行われる社会の実現に向けて、これらの観点を踏まえて、業務形態に応じた課題に対処する必要があるのではないかな。

【実現したい社会】
質の高い住まいの安定的な供給・適切な維持管理を行うための
住まい供給の担い手である住宅分野の建設技能者の確保



(3)住宅生産の担い手にかかるアンケートについて①

(1) の住宅生産体制（6 類型）ごとに、以下の項目を調査する。

〔A-1〕 〔B-1〕 〔C-1〕 である施工会社向けアンケート項目（想定）

明らかにしたい事項

●基礎情報

会社名、住所・電話番号、社員数、主要な構法（木造・鉄骨造・RC造・その他）

●業務形態（新築・リフォームごとに）

業務エリア、年間平均契約棟数、注文・分譲の割合、
1 棟あたりの平均時間（実労働日数、着工から竣工までの期間）

●社内の体制（新築・リフォームごとに）

社員住宅建設技能者の数（施工工程別・男女別・特定技能制度による外国人の数
（施工工程別・男女別））、勤務形態、休暇や病欠時の給料の保証度合

業務形態

元請けとしての
業務形態

●下請けとの関係について（下請けがいる場合）

契約形態（年間・物件ごと・日雇い、専属契約の有無）、会議の機会（頻度、内容）、
把握している下請け先の施工会社の住宅建設技能者の体制（人数（施工工程別・男女別）、
下請けに頼む頻度（社内労働力不足）

●担い手の確保に向けた課題

受注見通し、労働力の確保（入職・定着）、施主との契約金額での材料費・労務費の価格転嫁状況

抱える課題

元請けとして
抱える課題

○〔B-1〕 〔C-1〕 への追加質問

●技術力や商品等の提供を受けている会社との関係

会社名、契約している会社数、契約形態

業務形態

OEMの実態

○〔B-1〕 への追加質問

●業務形態

年間の自社ブランドとOEMとの割合、自社物件の年間平均契約棟数、注文・分譲の割合

業務形態

OEMの実態

(3)住宅生産の担い手にかかるアンケートについて②

〔D-1〕 〔E-1〕 〔F-1〕 である施工会社向けアンケート項目（想定）

明らかにしたい事項

●基礎情報

会社名、住所・電話番号、社員数、主要な構法（木造・鉄骨造・RC造・その他）

●元請けとの関係について

会社名、専属関係の有無（兼務している場合、何社か）

●社内の体制（新築・リフォームごとに）

社員住宅建設技能者の数（施工工程別・男女別・特定技能制度による外国人の数）、勤務形態、休暇や病欠時の給料の保証度合

●下請けとの関係について（下請けがいる場合）

契約形態（年間・物件ごと・日雇い、専属契約の有無）、会議の機会（頻度、内容）、把握している下請け先の施工会社の住宅建設技能者の体制（人数（施工工程別・男女別）、下請けに頼む頻度（社内労働力不足）

●担い手の確保に向けた課題

受注見通し、労働力の確保（入職・定着）、施主との契約金額での材料費・労務費の価格転嫁状況

○〔D-1〕 への追加質問

●業務形態

元請けと下請けとの割合、自社物件の年間平均契約棟数、注文・分譲の割合

業務形態

一次下請け
としての
業務形態

抱える課題

一次下請け
として
抱える課題

業務形態

元請けかつ下請けとして
の業務実態

(3)住宅生産の担い手にかかるアンケートについて③

〔B-1〕 〔C-1〕 へ技術力や商品等の提供を行っている者向けアンケート項目（想定）

●基礎情報

会社名、住所・電話番号、社員数、主要な構法（木造・鉄骨造・RC造・その他）

明らかにしたい事項

●OEM先の施工会社との関係について

契約形態（永久・年間・物件ごと、専属契約の有無）、会議の機会（頻度、内容）、把握しているOEM先の施工会社の住宅建設技能者の体制（人数（施工工程別・男女別）、新規技術や商品の開発の際にOEM先の施工会社の意見の反映有無

業務形態

〔B〕 〔C〕 の施工会社の必要な技術力の確保や仕事の仕方の可視化

●施工体制の確保に向けた課題

OEM先の施工会社をどのように確保しているか

抱える課題

〔B〕 〔C〕 の形態での課題

〔D-1〕 〔E-1〕 〔F-1〕 の元請け向けアンケート項目（想定）

●基礎情報

会社名、住所・電話番号、社員数、主要な構法（木造・鉄骨造・RC造・その他）

●業務形態（新築・リフォームごとに）

業務エリア、年間平均契約棟数、注文・分譲の割合、1棟あたりの平均時間（着工から竣工まで）

業務形態

●下請けとの関係について

契約形態（年間・物件ごと・日雇い、専属契約の有無）、会議の機会（頻度、内容）、把握している下請け先の施工会社の住宅建設技能者の体制（人数（施工工程別・男女別）、把握している下請けの業務体制（業務日（週休・残業）、保険等）

〔D〕 〔E〕 〔F〕 の施工会社の必要な技術力の確保や仕事の仕方の可視化

●担い手の確保に向けた課題

受注見通し、労働力の確保（入職・定着）、施主との契約金額での材料費・労務費の価格転嫁状況

抱える課題

〔D〕 〔E〕 〔F〕 の形態での課題

(3)住宅生産の担い手にかかるアンケートについて④

【〇ー２】である社外の者（一人親方等）向けアンケート項目（想定）

明らかにしたい事項

※団体単位へアンケートを行う。

●基礎情報

建設国保に加入しているひとり親方の職種別割合、主要な構法（木造・鉄骨造・RC造・その他）

●元請けとの関係について（おおまかな割合）

契約形態（年間・物件ごと・日雇い、専属契約の有無）、会議の機会（頻度、内容）、契約している元請けの数（年間およその現場数）

業務形態

一人親方等
としての
業務形態

●業務形態（大まかな割合）

業務エリア、年間平均契約棟数、1現場あたりに平均かかる時間（実労働日数）

●担い手の確保に向けた課題

受注見通し、労働力の確保（入職・定着）、入職者への教育（時間の捻出・動機付け、技術の継承）、労働条件、適切な労務費での契約、

抱える課題

一人親方等の
働き方の課題